

〔 鑄 川 〕

多胡橋上下流の鑄川では、河積（川の断面積）が小さく、河道も屈曲しており、宅地及び農耕地に浸水被害が発生している。このため、河道の拡幅と線形改良により、概ね30年に一回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

改修に当たっては、自然石等の自然な素材を使用し植生の回復及び保全を図り自然豊かな水辺の整備に努める。

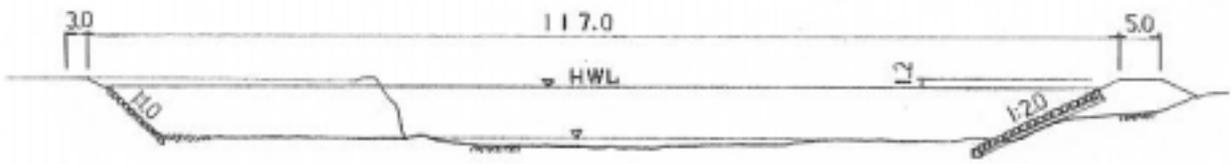
施工区間 多胡橋下流約300mから多胡橋上流約880mまで

延 長 L = 約1,080m

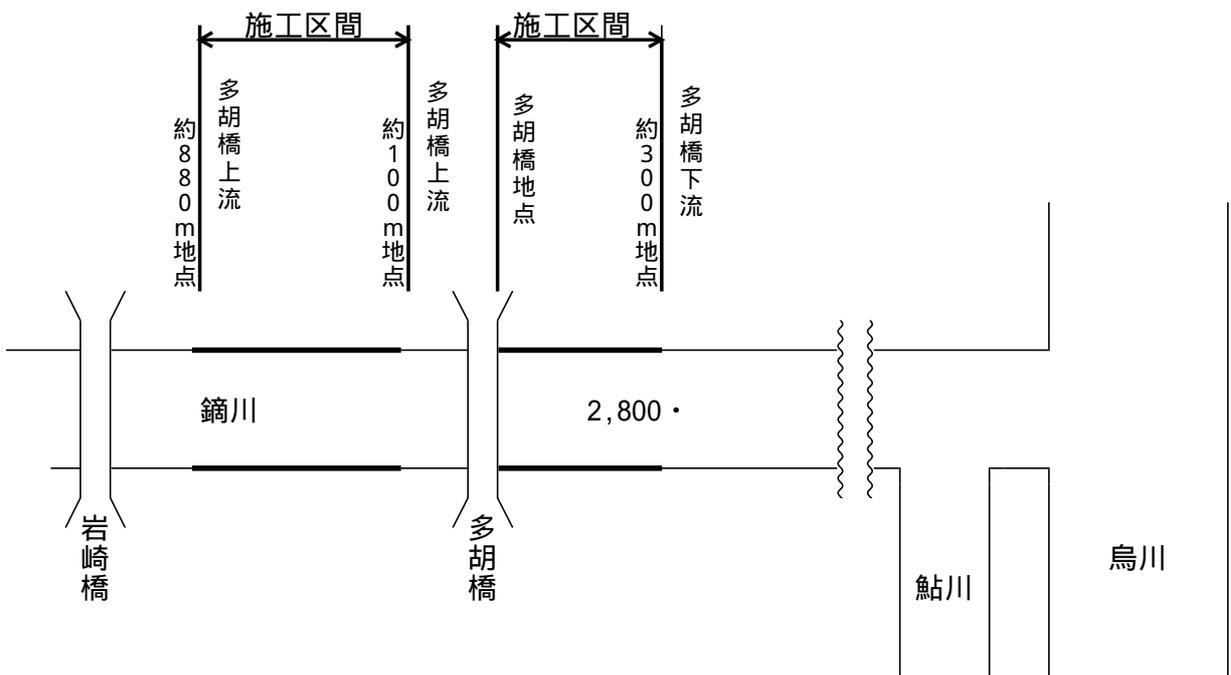
整備内容 河道掘削工、護岸工、築堤工



平 面 図 (縮 尺 : 1 / 2 5 , 0 0 0)



代表横断面図 (多胡橋上流約700m地点)



(単位：m³/s)

計画流量配分図